



# 善正寺だより

〒:512-0902  
 三重県四日市市  
 小杉町1014  
 浄土真宗  
 本願寺派  
 善正寺  
 ☎:0593-31-1670  
 ☎:0593-32-0733

## 掲示板法話

### 念仏者は無碍の一道

#### 隔てなく安心を賜って生きる世界

我が国は世界一の長寿国です。それにもかかわらず、若者の自暴自棄な殺人事件や「介護に疲れた」という老夫婦や親子の事件が後を絶ちません。仏説阿弥陀経に説かれる「五濁」

(劫濁・時代の濁り、見濁・邪悪な思想。見解がはびこる、煩惱濁・

貪欲・瞋恚・愚痴の煩惱が激しくなる、衆生濁・生きている者の資質が低下する、命濁・衆生の寿命が短くなる)の世だと嘆きたくもなりません。

だが、「念仏者は無碍の(何物にも妨げられない)一道なり」(歎異抄・第7章)。想像を絶するご苦労の果てに乗り越えて歩まれた母娘のお話を紹介します。

先日『わたしの花巡礼』(釋水鶴の生き方)(前川多恵子著、方丈堂出版)というご本を贈られました。著者の前川さんと言えば、2009年の秋ごろ、私どもの寺へ老母を伴い、自身は酸素吸入器を携行して、「花巡礼の法座」にお越しくださった方です。ご記憶の方も多いでしょう。

三度も死線をさまよい、二十四時間酸素吸入して身動きもままならぬ時、病床で聞いたラジオ・宗教の時間で仏法に会い、「仏教は生死を超えた自分より大きなものを見出す世界だ」という中国新聞・洗心欄の筆者、志慶眞医師に手紙を書きました。それが仏縁への導きになり、「死んだらおしまい」だと母親を受取人とする生命保険をかけて事足り、と思っていた自分の親不孝に気づいたそうです。その後復に向かい、認知症の進む母親を喜ばせたいと考え、「花巡礼法座の旅」を敢行。広島の法友のお勧めでわが方にもご縁を頂いて、百名を超えるご門徒さん方に尊い感動を頂きました。その後、自宅が火災に遭いながらも母親の無事を喜ばれ、昨年母を見送られた機会に著書が出版されたのです。

「仏法に出遇えて一番よかったことは、自分が大好きになり、生きている喜びが何倍も味わえるようになったこと」と言われます。そして、「死ねば終わり」という思いも消えました。「母がお浄土へかえらせて頂いた今、住む世界が違って初めて、一緒になれ



## ☆行事ご案内☆

### 春季永代経

3月14日(土)午後1時半・夜7時半

15日(日)午後1時半

講師 稲葉芳道先生(奈良県)

※お経開きは14日(土)午前10時半より

◇キッズサンガ 3/7(土)午後4時より。お経、卒業式もします。鐘つきは毎夕5時、年中無休、お友達を誘って来てね

◇三重組コーラス西勝寺様で、3/9(月)午後1時半

善正寺ホームページ「三重 善正寺」で検索。1年分の寺報が閲覧。毎日更新のブログ「住職と坊守のつれづれ日記」が大好評。寺の日常を公開、開設6年7か月で16万6千訪問、一日平均100程、コメント、悩み相談、大歓迎！即返信します。

◇『一縁会テレホン法話』059・354・1454へ電話

※親鸞聖人750回大遠忌法要、平成28年5月15日(日)午後ご法要までいよいよ1年2か月、皆様のご協力よろしく！

◇お稚児さん募集開始！参加費5千円、詳細お申込みは寺まで生涯のよき思い出、仏縁です。お誘い合わせてご参加下さい！

◇三全仏教婦人会総会：3月20日(金)夜7時、善正寺

◇新納骨堂後継者のない方、お墓でお困りの方ご相談下さい。仏事が都合により家で勤められない方、本堂をお使い下さい。

◇三重組十三日講 3月13日午前・午後 菰野・延長寺様



る。同化というか、いつも亡き人と一緒に動けるといふ、亡母が私の内に居て、亡父も私と一緒に、それで今、子供に返っているような気分です」「安心して仏様に養って頂いている」と締めくくっておられます。

死んだらおしまいではない。この世とあの世の隔てなく、壊れることのない安心を賜って生きる世界があると何と喜ばしいことでしょうか。縁ある者同士、拝み合うことのできる世界に歩みを進めたいものです。

## 写真アラカルト



坊守スケッチ

宗教入門のきっかけ

三〇代後半の若者の訪問があった。彼は結婚して数年経つが子供はいない。合コンで知り合った妻は専業主婦。「あなたが仕事で、妻は何をしているの?」「ホテルで偉い先生の話をするセミナーに行っています。結婚してから私も誘われたのですが、仕事が忙しくて行けません。」「何故、そんな所に行く気になったの?」「僕も妻も複雑な家庭環境で育ちました。親の愛情に恵まれず寂しい子供時代。学校は卒業したものの悩みを誰にも相談できず、うつになり引きこもっていました。結婚後も、様々な挫折を味わいました。妻が友達に誘われてセミナーに参加するようになりました。」「お寺でもそんな話は聞けるよ。通信教育で仏教も学べる。今からでも遅くない。知らなかった?」「お寺はお年寄りが集まる所で敷居が高い。セミナーはボランティアやヨガなど行動的で若者でも入りやすいから。成程お寺の体質の弱点を突かれた気がした。これからはネットを使って、初心者でも気軽に相談しやすい寺になりたいと反省した。

親切心が仇になってしまった。スマホで育った若者の心の闇は、老人世代が考えるよりもずっと複雑で深い。若い両親は勉強の点数ばかりを気にして、子供の心のひ弱さ、曲折を見落としていたのではないだろうか?戦後の高度成長期時代に育った両親は、人生の苦悩にぶつかった時、その解決法をどこに求めていたのか?

宗教入門のきっかけは人様々。逆境に出会った時こそ、その始まり! 藁をもつかむ思いで掴んだものが、確かな心の拠り所であって欲しい。悩める人々に、お寺がそのお手伝いをする役目をしっかりと果たしたいと思う。



Eさんのいいもの紹介

☆大切なものがだんだん見えてくる。自分で爪を切れる幸せ! 幸せは神仏にお願ひするものだと思っていたが、自分で見えてくるものだなあ(みきへい) ※大病を克服したEさんだからこそ共感できた言葉。幸せって当たり前なこと、有難いと受け止めることかもしれないですね。(坊守)

カンパありがとう

脇田憲明様、匿名様(九州)よりお志、切手等を頂戴しました。

☆若院夫婦の『育自な毎日』その5

4月から幼稚園へ通う長男はトイレトレーニング真っ最中。昨年の夏頃から始めたのですが、なかなかうまく進まず、第二子の出産や世話で一時中断。その後トイレトレーニングを再開するも一進一退の繰り返しでした。

そんな頃、母屋に遊びに行った長男から「オシッコができた!」という朗報。詳しく聞くと、個室のドアを閉めて大人が外で待機していたらできたそうです。早速こちらでも実践しました。すぐに成功! 沢山褒めて一緒に喜びました。今までは便座に座らせて側で待っているのですが、長男にはプレッシャーか? それとも羞恥心でしょうか? まだ自分から「オシッコ出そう」と発言するには至りませんでした。

しかし小さな成長を見て私達は嬉しくなりました。今もトイレへ誘ってもなかなか行こうとはしません。「無理に連れていっても嫌いになるだけでは?」「いや、はじめを持って、やる時はやらせなければ」と、親として葛藤する毎日です。4月までにオムツ卒業は難しいかもしれませんが、幼稚園でお友達から刺激を受けて学ぶだろうと期待をしつつ、長い目で見守っていかうと思います。(J&Y)



寄稿

坂田妙子(呉市)

☆世に出でし 多くの命 戴くも 我が喜寿迎え 罪深き身は

ホットニュース

ご門徒の館勇次氏が四日市優秀技能者(大工)に選ばれ、市長さんより表彰されました。おめでとうございます。(2/8中日新聞、写真つきで紹介)

お稚児さん大募集!

平成28年5月15日親鸞聖人750回法要(1年2か月後)の御稚児さん大募集中! 参加費5千円。

☆坊守の素敵な言葉に出会った!

「無ければ無いで苦しみ、あればあったで苦しむ」

※田んぼ、子供、お金、家、名誉・私達が欲するものは全て、あればあったで次々に悩みの種が湧いてくる。結局今あるものをありのままに受け取って喜ぶのが、幸せへの近道だろう。

☆ 編集子より ☆

「善正寺だより」第255号をお届けします。◇随分寒い日が続きましたが海外ではイスラム国入質殺害事件、国内でも若者の凶悪犯罪等、心凍るような事件が続発。心の闇の深さを感じるばかり。◇「愛着障害」つまり幼児期の育児放棄や虐待が情緒希薄で無機質な人間をつくってしまうと言う。◇母親が授乳の時分泌されるオキシトシンという物質が治療に有効らしい。別称、利他ホルモン。要は慈悲心なしに人は育たないことを知る。合掌。

三月内孫外孫各々二人目の孫の初節句を迎えます。実さか残る昨今ですが、雛人形を見ると何故か心が和みます。先日三重組観劇ツアーで九条武子物語、如月の華を中日劇場で観てきました。2月7日は武子様のご命日「如月忌」です。武子様は西栗願寺門主のお嬢様にお生まれになり、仏教婦人会の創設や京都女子大の設立にご尽力。九条良致氏と結婚後、関東大震災では被災者の救済に挺身。その無理が重なって昭和3年42歳の若さでご往生されました。美人の誉れ高く和歌の同じ門下生として柳原白蓮とは親友でした。私は九条武子作詞、中山晋平作曲の仏教讃歌「聖夜」が大好きです。夜空に輝く幾多の星を無教の仏様と受け止めて、それに護られて生きる仏達の歓喜と安らぎが、七五調の歌詞に込められています。他にも「見ずや君明日は散りなむ花だにも力の限りひとときを咲く」という歌も好きです。明日があらうと無からうと、花は今のひとときを精一杯咲く。山の頂でも麓でも、どこでも名も知れず咲く。自分が置かれた場所で自分の花を力の限り咲かせたい。という武子様の熱い想いが込められています。とかく世間体を気にして狭い価値感で今一歩踏み出せない私達、

この劇で武子様の人間的魅力を感じ、無私無欲の勇氣と行動力を学びました。百年の歴史ある三全仏教婦人会、武子様の志を受け継ぎ灯を絶やさぬように努めまよう。3月14・15日永代経、20日夜は仏婦の総会、皆様の協力もろくお願ひ申し上りませう。合掌

平成27年3月

善正寺坊守拝